

コード	301030113
記入日:	H21.6.8

課コード	111
課名	健康保険課
課長名	富永重利
担当者	小原義一

事務事業途中評価表

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	保健衛生普及費	事業種類	単年度繰返事業
		事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	8		
施策コード	301	施策名称	健康を守りつくる保健・医療の充実	項コード	2		
基本事業コード	30103	基本事業名称	地域医療体制の充実	目コード	1		
事務事業コード	3010301	事務事業名称	国民健康保険特別会計事業費	細目コード	553		
関連計画			法令・条例規則等	国民健康保険法			

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標						
(対象1)	全住民	(対象指標1) 23,719人(H21.4.1現在)						
(対象2)		(対象指標2)						
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)						
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)		
*****	平成20年12月6日(土)第4回「新上五島町健康まつり」を開催。保健事業の歯の健康まつり(歯っぴいフェスティバル)と同時開催し、ウォーキングをテーマに講演会と実技指導を実施し、健康チェック・健康相談を行い、生活習慣改善のための健康意識の普及を図った。	*****	*****	*****	開催回数1回÷開催予定数1回	*****		
①		開催回数	1回	100%		平成21年度		
(達成率分析)		予定どおり開催した。						
②		*****	*****	*****	*****	*****		
(達成率分析)								
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)						
生活習慣病等の予防・改善を町全体で取り組むことによって「自分の健康は自分でつくる」という自覚と意識を高め、町民全てが健康で明るい家庭を築くための一助とし、よって医療費の抑制へ繋げていくことを目的に実施。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)		
		*****	*****	*****	参加人数338人÷参加計画人数500人	*****		
		①	参加人数	338人	67.6%		平成21年度	
		(達成率分析)	今回は、特定健診、歯っぴいフェスも同時に実施し、参加者人数を大幅に増やすことができた。					
②	*****	*****	*****	*****	*****			
(達成率分析)								

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 回	4	4	3	1	1					
	②										
成果指標	① 人	1,225	1,063	725	500	338					
	②										
総事業費C(A+B)	千円	38,426	38,744	25,716	12,710	13,028					
直接事業費A	千円	28,626	28,944	18,016	10,610	10,928					
人件費B	千円	9,800	9,800	7,700	2,100	2,100					
内訳	従事職員数	人	1.4	1.4	1.1	0.3	0.3				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	38,426	38,744	25,716	12,710	13,028					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	医療費の抑制、節約のためには必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	社会生活環境の変化によって、生活習慣病の予防の観点から益々重要になっている。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	本来の対象者は、国保被保険者であるが、将来国保被保険者となるため、全住民を対象としても問題はなく適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	事業の実施場所については、検討すべきところがあるが、継続することで成果をあげられる。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	住民への健康増進対策及び実施時期等を十分に検討し、保健衛生事業を実施することで可能となる。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	医療費の抑制を図れないこととなる。
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由	一般会計で実施している保健事業の中で実施は可能である。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	一般会計の既存の保健事業と一緒に実施すれば、減額は可能である。
	人件費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	必要最小限の人員で行っており、削減できない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	受益者負担なし

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ見直す必要はない。
		有効性	住民の健康増進に貢献しており、有効である。
		効率性	既存の保健事業と時期を合わせ一緒に実施することで、効率性は高まる。
		課題に向けた改善策	特になし
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	各種イベントや事業展開による普及活動により、町民の健康志向を高め、生活習慣病予防・改善、住民の健康増進を図ること。
		効率性	関連する保健事業との連携により、経費の節減を図ること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
			事業費を見直して事業を継続					事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。